

第20回ヘルスカウンセリング学会学術大会

9月
浦安

会長インタビュー

NPO法人ヘルスカウンセリング学会

(筑波大学名誉教授)
宗像 恒次会長



代のウェルビーイング」。——に沿って基調講演。シ

会長の宗像恒次・筑波大学
名譽教授は「政治経済、自然環境、社会制度などすべてにおいて見通しの立たない時代だからこそ、どう生きればいいのか自分に見通

しをつけなければいけません。今までの生き方を問いかけており、家族との間にストレスを抱えやすい生き方

ンボジウムは「病がもたらす自己探求と愛情の糸」と笑顔がなかったということ(多くは親族由来の細胞が「見通しの立たないストレス状況を支援する」の2題に気がつくのです。実は最近の科学研究で分かっています。自分の中に別

か自分があるか

うコントロール

できなのは当然

然です。キメラは自分ではないので免疫

が攻撃するわけです。私は

これが慢性炎症の直接の原

因だと考えています」と話

す。この考え方について論じられる。

宗像氏は「支援する側も

ます。私自身はS.A.T法

法を提示していきたい」と

既存のパラダイムでの治療

(情動認知行動療法)によ

話している。

ど病になると本人も家族もストレスを抱えてしまうのか。宗像氏は「実は自分自身をつぶっている60兆の細胞の中に遺伝子の異なる非自

然の『キメラ』細胞の存在

をしており、家族との間にはストレスを抱えやすい生き方

のなかで、自分の『キメラ』細胞が

の『キメラ』細胞の中には、親族由来の細胞が

最近の科学研究で分かって

きています。自分の中に別

か自分があるか

うコントロール

できなのは当然

然です。キメラは自分ではないので免疫

が攻撃するわけです。私は

これが慢性炎症の直接の原

因だと考えています」と話

す。この考え方について論じられる。

宗像氏は「支援する側も

ます。私自身はS.A.T法

法を提示していきたい」と

既存のパラダイムでの治療

(情動認知行動療法)によ

話している。

不透明な時代のウェルビーイングとは

世界観・人生観見直す意義を説く

然です。キメラは自分ではないので免疫

が攻撃するわけです。私は

これが慢性炎症の直接の原

因だと考えています」と話

す。この考え方について論じられる。

宗像氏は「支援する側も

ます。私自身はS.A.T法

法を提示していきたい」と

既存のパラダイムでの治療

(情動認知行動療法)によ

話している。

第20回ヘルスカウンセリング学会学術大会
9月
浦安

会長の宗像恒次・筑波大学
名譽教授は「政治経済、自然環境、社会制度などすべてにおいて見通しの立たない時代だからこそ、どう生きればいいのか自分に見通しをつけなければいけません。今までの生き方を問いかけており、家族との間にはストレスを抱えやすい生き方

ンボジウムは「病がもたらす自己探求と愛情の糸」と笑顔がなかったということ(多くは親族由来の細胞が「見通しの立たないストレス状況を支援する」の2題に気がつくのです。実は最近の科学研究で分かっています。自分の中に別

か自分があるかうコントロールできなのは当然然です。キメラは自分ではないので免疫が攻撃するわけです。私はこれが慢性炎症の直接の原因だと考えています」と話す。この考え方について論じられる。

宗像氏は「支援する側もます。私自身はS.A.T法法を提示していきたい」と既存のパラダイムでの治療(情動認知行動療法)によ話している。

ど病になると本人も家族もストレスを抱えてしまうのか。宗像氏は「実は自分自身をつぶっている60兆の細胞の中に遺伝子の異なる非自然の『キメラ』細胞の存在をしており、家族との間にはストレスを抱えやすい生き方のなかで、自分の『キメラ』細胞の中には、親族由来の細胞が最近の科学研究で分かっています。自分の中に別か自分があるかうコントロールできなのは当然然です。キメラは自分ではないので免疫が攻撃するわけです。私はこれが慢性炎症の直接の原因だと考えています」と話す。この考え方について論じられる。

宗像氏は「支援する側もます。私自身はS.A.T法法を提示していきたい」と既存のパラダイムでの治療(情動認知行動療法)によ話している。